

# Q&A

## クローン病治療中に発症した皮膚病変

### 【問 題】

症例：30 歳代，女性。

主訴：両手掌，足底の皮疹。

既往歴：特記事項なし。

生活歴：特記事項なし。

家族歴：特記事項なし。

現病歴：腹痛，下痢を契機に 20XX 年 5 月にクローン病と診断された。インフリキシマブによる寛解導入療法で改善し，8 週間隔の維持治療をうけていた。同年 11 月より腹痛，下痢が再発したため，インフリキシマブを 4 週間隔で投与したところ，腹部症状は消失した。しかし，20XX+1 年 1 月より手掌と足底部に落屑をともなう膿疱性皮疹が出現し，歩行困難となった。

現症：身長 158cm，体重 60kg，体温 36.6℃。意識清明，血圧 129/63mmHg，脈拍 75/分。眼瞼結膜に貧血なし，眼球結膜に黄疸なし。腹部は平坦・軟，圧痛なし。両手掌，両足底に皮疹あり。

血液検査所見：WBC 6970/ $\mu$ l，RBC  $467 \times 10^4$ / $\mu$ l，Hb 12.6g/dl，Ht 36.4%，Plt  $280 \times 10^4$ / $\mu$ l，TP 8.0g/dl，Alb 4.0g/dl，CRP 0.49mg/dl，ESR 34mm/hr。

Figure 1 に足底の皮膚所見，Figure 2 に同時期の大腸内視鏡所見を示す。

### 皮膚病変の診断は？



Figure 1. 両側足底に落屑をともなう膿疱性皮疹を認める。

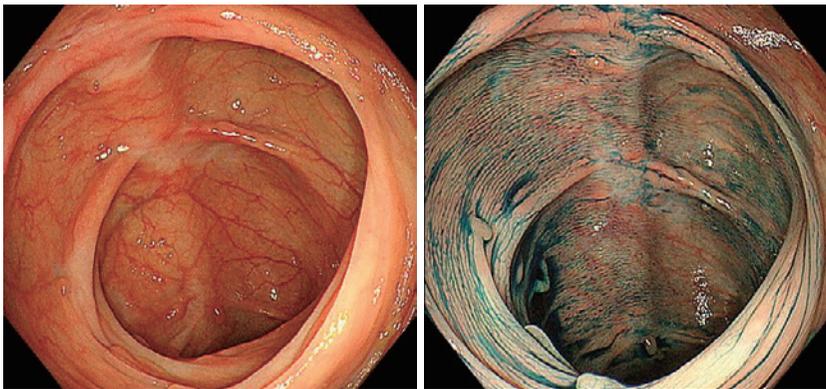


Figure 2. 横行結腸。